

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400079	事業の開始年月日	平成18年12月1日	
		指定年月日	平成18年12月1日	
法人名	株式会社ウィズネット			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷			
所在地	( 〒246-0006 )			
	神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年8月30日	評価結果	平成23年11月2日	
		市町村受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一昨年より、ホームの隣に地主様より畑をお借りし野菜作りをしています。今年は猛暑の為、夏野菜を作ることを断念してしまいましたが、秋に向け現在ご利用者様と何野菜を植えようか考えている所です。  
又、季節に応じた貼り絵等の作品をご利用者様と作成しフロアに飾らせていただいています。  
これからも、ご利用者様に楽しんでいただける行事等を考え、「ここでの生活は楽しい」と思っただけのように考えて参りたいと思います。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年9月21日	評価機関 評価決定日	平成23年10月22日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

＜事業所の優れている点＞  
 ◇理念の具現化 理念「笑顔・気配り・安心」の実践に向けて、利用者が毎日の生活を楽しむことができるように職員は明るく、チームワークの良さで利用者の立場に立って温かい支援に取り組んでいる。訪問時の会話や食事の場面で職員と利用者のやり取りに笑顔を見ることができた。  
 ◇屋外活動 自治会に加入し地域のお祭りや掃除に参加したり、ホームの隣に畑を借りて野菜作りを楽しみ、収穫した野菜（今夏は猛暑で野菜作りを断念、秋に向けて何の野菜を植えようかと考えている）をご近所に配り、スイカ割りや花火大会、オルガン演奏会などの事業所の行事にご近所の方を招待し、地域との交流を大切にしている。  
 ＜事業所が工夫している点＞  
 ◇季節を味わう 季節の変化が分かりづらい利用者と一緒に四季折々の貼り絵等の作品を作り、フロアに飾ってり季節の移り変わりを感じてもらっている。  
 ◇積極的な地域交流を目指して オルガン演奏会、花火大会などの行事のチラシを作り、施設の玄関に掲示し、近所の方にポスティングして、地域の方にグループホームを良く知ってもらえるように招待している。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	1U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念としてミーティングや申し送りを行い、確認し合い業務に反映できるよう努めている。	・理念と共に行動指針「いつも笑顔で明るいホーム作り。ご入居様が何を望んでいるか察して提供をしていく。生活不安がなく過ごせる事でご入居様様の心の安心を図る。」などの行動指針を付け加え玄関・居間に掲示している。 ・職員は職員会議等で理念の具現化を話し合い、積極的に地域交流を図るよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域のお祭りや掃除等に参加している。ホームで、行事を開催する際、地域の方へ参加していただけるようチラシを配布している。	・自治会に加入しており、地域のお祭りに参加したり、町内会のお掃除に参加している。 ・オルガン演奏、花火大会などのホームの行事にご家族や近くの方を招待したりして交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	会社で発行している新聞等持ち帰りやすい場所に設置している。 ホーム見学に来やすい環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成23年5月・8月に運営推進委員会を行いました。	・運営推進会議は年4回実施し、自治会長、家族、民生委員、包括支援センター職員が参加している。 ・家族より遠出の外出の希望を受け、秋には家族の協力を得て行う予定である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所へ相談等に出向いています。	・瀬谷区役所担当者と介護保険の更新手続きや相談等で助言や指導を受け、日常的に連携をとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。月1回ホームにて勉強会を開催しています。	・「身体拘束ゼロ推進」のポスターを掲示し、安全対策委員会を設けて担当者を決め、月1回身体拘束をしないケアについて研修を行い、職員教育を行っている。 ・利用者の健康状態や職員体制から安全面を考慮して玄関、縁側に日中も鍵をかけている。	日中、玄関・縁側の施錠を外す事について、見守り体制強化の観点から検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会での研修報告を行い防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行い理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認させていただきながら契約をしています。又、入居後も疑問等あれば都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会開催やご面会時に意見や要望を都度伺っています。 又、玄関に意見箱を設置し対応出来る事については迅速に対応させていただいています。	・家族には来訪時の面談及び月1回一言通信を発行して様子を報告し、家族会や運営推進会議で施設に対する意見・要望を聴くように努めている。出された意見や要望はスタッフ会議で話し合い運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やスタッフ会議にて業務に対する意見等聞き、一緒に考え解決するように努めています。	・スタッフ会議や随時の話し合いの場で、職員から意見や提案を聞き、業務に反映させている。 ・職員提案により、季節の変化を感じにくくなった方と一緒に四季折々の作品を作って部屋を飾り、季節の移り変わりを感じて貰えるようになった、などの事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加出来るように勤務調整をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来る様にしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅に訪問し困っていること、不安なこと等聞き取り、安心して過ごせるよう関係作りに努めています。個々の要望に可能な限り応える様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困ったこと等が起きた際は、遠慮せず連絡頂けるよう伝えていきます。又、連絡があれば日程調整し話し合いの場を設けていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には出来だけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活が出来る環境作りを行い、利用者の気持ち・意志を尊重し、自然体で生活が出来る環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話等で連絡を取り、お互いに情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来て頂けるようにご家族様に伝えていきます。又、希望があれば電話で話したり手紙を書いたり出来る環境作りをしています。	・友人、身内の方からの電話を取り次いだり、スタッフの協力で家族や友人に年賀状を書いて貰うことにより、利用者との関係を継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、ご利用者様一人一人の趣味等を把握し関わり合えるきっかけ作りをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じて今後の生活に必要な情報提供をしたり相談を受けたりしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意志を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いの場を設けています。	・入居時に聞き取った生活歴や利用者との日常の会話やご家族との話から、利用者の思いの把握に努めている。 ・把握した情報は申し送りノートに記載して職員間で共有し、ケアに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録・健康記録等でご利用者様の状態を把握し、その方に合った趣味等を継続して頂ける環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンスを開催後介護計画書を作成しています。	介護計画は利用者、家族の要望を聞き、カンファレンスで検討を行って作成している。通常は6カ月、ケースによっては3カ月、家族の要望や状況に変化があった場合は期間に限らずその都度見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様に対し出来る限り対応し、外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で包括支援センター他事業所との交流をはかっています。自治会に加入し地域の住民とゴミの収集をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望により、入居前から診察を受けていた遠方のかかりつけ医に受診されている方もおります。又、ご利用者様の状況にあった医療機関での診察を支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所時に、利用者と家族の了解の下に、利用者全員が事業所の協力医療機関を主治医としている。</li> <li>・協力医が月2回、歯科医が月2回訪問診療している。</li> <li>・本人及び家族の希望により協力医療機関以外の受診を行うときは、家族の付き添いを原則としているが、職員が対応することもある。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務しています。必要な場合、その場で処置をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居前にご家族様に重度化した場合の説明をさせていただきます。医療機関との連携をとり対応出来る体制作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、看取りについて説明をし医師・ご家族様の希望を一番に考え医療・職員の協力を得てひとつのチームとなり支援していきます。	・重度化や終末期対応については入居時に家族に説明を行い、意向を聞き、医師と相談して、できる範囲で対応する方針であるが現状のスタッフでは看取りは厳しい状態にある。	設置法人の「看取りに関する考え方」の実現に向けて、果たすべき役割、チーム作りからの職員研修を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応し医師に連絡しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内の1回は、地域の方や自治会の方に参加して頂き連携を取れる体制作りをしていきます。	・消防署の指導を受け、年2回日中、夜間想定も含めて避難訓練を行っている。今年は10月、3月を予定している。入居者家族を通して自治会に協力をお願いすることになっている。水、食料品の備蓄を2日分を確保している。	災害時に地域の方や自治会の協力が得られるような地域との関係の構築を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴や既往歴に配慮してご利用者様のペースに合わせた声かけを心掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は、職員の利用者への接遇で、尊厳やプライバシーなどの点で不適切と思われる場面があった場合はその都度注意、指導している。</li> <li>・利用者個人の記録類は事務所内に施錠保管している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し、自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回地域の美容師の方に来て頂き、ご利用者様のご希望を伝え散髪をして頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け・片付け等職員と共に行っています。職員と一緒に楽しみながら食事をしています。又、外食や出前を取り寄せることもしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は食事の盛り付け、下膳、食器洗いなどを無理のない範囲で行っている。職員は一緒にテーブルで食事をして、おしゃべりしながらさりげなく介助をしている。</li> <li>・手作りおやつの際は利用者も腕をふるっている。時にはラーメン、焼き肉の外食や寿司の出前を楽しんでいる。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態は、ご利用者様の状況に応じて対応しています。食事量・水分量は、1日を通して確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・歯科衛生士の指導の基に、毎食後口腔ケアの声かけをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。	・排泄チェック表を基にパターンを把握し、利用者一人ひとりに合った支援を行っている。入居前は失禁のあった方も職員の適切な声かけや誘導で改善された事例が複数例ある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量を把握し、適度な運動の声かけ等行っています。医療関係者にも報告し指示を頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご入居者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をして頂いています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴してもらえる様工夫しています。	・入浴を好まない方には、職員の方の合った言葉かけやタイミングを見計らった誘導で最低週2回は入浴するように支援している。利用者の状況により、湯をその都度落とすなど衛生面に配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大事にし、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をファイルし、ご利用様がどんな薬を服薬しているか職員が把握出来るようにしています。又、薬剤師が薬を届けて下さる際に服薬指導をして頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行って頂いています。イベント等で気分転換をして頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用様の体調や気分に合わせて添って外出・外食等支援させて頂きます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や体調に合わせて散歩に出かけている。利用者の状態、職員配置の問題もあり、以前に比べると散歩や外出の機会を作りにくい現状がある。</li> <li>・遠出の外出は家族に頼んでいる。</li> <li>・花見や初詣には近くの公園や神社に、徒歩や車椅子で出かけている。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームにヤクルト・移動パン屋の販売で好きな物を購入して頂いています。又、必要に応じてデパート等への買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は子機を利用して頂きお話しが出来る環境作りをします。手紙は出来るだけご自分で書けるように支援します。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間に関しては、毎日掃除をしています。レイアウトは季節に合った物をご利用者様と一緒に作成し飾らせて頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と利用者が共に作った季節ごとの作品がリビングの壁に飾られている。</li> <li>・リビングは広く明るく、室温、湿度も適切に管理され、掃除も行き届いている。</li> <li>・リビングには大きなテーブルが置かれ、歓談したり、一人で新聞を読んだり、ぬり絵をすることができるようになっている。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TVの前にソファを置き、一人で過ごしたり、他ご利用者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を置いて、安心・安全に生活して頂けるようにしています。	・事業所側のベッド、チェスト、カーテンなど備え付けの他に、使い慣れたタンス、家族の写真、ぬいぐるみ、テレビなど持ち込まれ、各自が落ち着いて過ごせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念としてミーティングや申し送りを行い、確認し合い業務に反映できるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域のお祭りや掃除等に参加している。ホームで、行事を開催する際、地域の方へ参加していただけるようチラシを配布している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	会社で発行している新聞等持ち帰りやすい場所に設置している。ホーム見学に来やすい環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成23年5月・8月に運営推進委員会を行いました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所へ相談等に出向いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。月1回ホームにて勉強会を開催しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会での研修報告を行い防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行い理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認させていただきながら契約をしています。又、入居後も疑問等あれば都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会開催やご面会時に意見や要望を都度伺っています。又、玄関に意見箱を設置し対応出来る事については迅速に対応させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やスタッフ会議にて業務に対する意見等聞き、一緒に考え解決するように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加出来るように勤務調整をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来る様にしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅に訪問し困っていること、不安なこと等聞き取り、安心して過ごせるよう関係作りに努めています。個々の要望に可能な限り応える様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困ったこと等が起きた際は、遠慮せず連絡頂けるよう伝えていきます。又、連絡があれば日程調整し話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には出来だけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活が出来る環境作りを行い、利用者の気持ち・意志を尊重し、自然体で生活出来る環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話等で連絡を取り、お互いに情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来て頂けるようにご家族様に伝えていきます。又、希望があれば電話で話したり手紙を書いたり出来る環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、ご利用者様一人一人の趣味等を把握し関わり合えるきっかけ作りをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じて今後の生活に必要な情報提供をしたり相談を受けたりしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意志を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いを場を設けています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録・健康記録等でご利用者様の状態を把握し、その方に合った趣味等を継続して頂ける環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンスを開催後介護計画書を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様に対し出来る限り対応し、外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で包括支援センター他事業所との交流をはかっています。自治会に加入し地域の住民とゴミの収集をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望により、入居前から診察を受けていた遠方のかかりつけ医に受診されている方もおります。又、ご利用者様の状況にあった医療機関での診察を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務しています。必要な場合、その場で処置をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居前にご家族様に重度化した説明をさせていただきます。医療機関との連携をとり対応出来る体制作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、看取りについて説明をし医師・ご家族様の希望を一番に考え医療・職員の協力を得てひとつのチームとなり支援していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応し医師に連絡しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内の1回は、地域の方や自治会の方に参加して頂き連携を取れる体制作りをしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活暦や既往歴に配慮してご利用者様のペースに合わせた声かけを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し、自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回地域美容師の方に来て頂き、ご利用者様のご希望を伝え散髪をして頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け・片付け等職員と共に行っています。職員と一緒に楽しみながら食事をしています。又、外食や出前を取り寄せることもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態は、ご利用者様の状況に応じて対応しています。食事量・水分量は、1日を通して確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・歯科衛生士の指導の基に、毎食後口腔ケアの声かけをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量を把握し、適度な運動の声かけ等行っています。医療関係者にも報告し指示を頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご入居者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をして頂いています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴してもらえる様工夫をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大事にし、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をファイルし、ご利用様がどんな薬を服薬しているか職員が把握出来るようにしています。又、薬剤師が薬を届けて下さる際に服薬指導をして頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行って頂いています。イベント等で気分転換をして頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用様の体調や気分に応じて添って外出・外食等支援させていただきます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームにヤクルト・移動パン屋の販売で好きな物を購入して頂いています。又、必要に応じてデパート等への買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は子機を利用して頂きお話しが出来る環境作りをします。手紙は出来るだけご自分で書けるように支援します。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間に関しては、毎日掃除をしています。レイアウトは季節に合った物をご利用者様と一緒に作成し飾らせて頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TVの前にソファを置き、一人で過ごしたり、他ご利用者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を置いて、安心・安全に生活して頂けるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家・横浜上瀬谷

作成日 平成23年10月21日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ホームで行事等を開催する際、チラシの配布やポスターの掲示を行なうが参加して頂けることが多い。	ホームへ来やすい環境作りをしていく。	散歩等外へ出た時は挨拶をする。 地域の自治会へ協力をお願いをする。 (自治会の会議への参加等)	1年間
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。